

この取材レポートでは、各務原市まちづくり活動助成金 令和4年度事業の活動の様子をご紹介します。
 令和4年度交付事業 … <スタート助成>1年目：1事業/2年目：2事業<まちづくり助成>1年目：3事業/2年目：1事業

8月20日(土)



9月21日(水)



団体名

雄飛地区
まちづくり委員会 **まちづくり助成2年目**

事業名

夏祭りプロジェクト事業

事業概要

雄飛地区内にある川崎山薬師寺で毎年8月の盆踊りに合わせ、境内の一部でバザーを出店し、雄飛地区内外から老若男女多数参加してもらい、地域活性化の相乗効果を図る。

事業費総額：320,280円(変更後)
／交付決定額：103,000円(変更後)円

主な経費内容

光るおもちゃ代、消耗品費、チラシ印刷費、事務用品費、ペーパーバッグ行燈関連費、提灯関連費(短冊印刷代、ライト用乾電池代、取付紐代)、フェイスシールド代、傷害・損害保険料、備品費(投光器、テント、提灯、提灯ライト、投光器保管ケース、トロ舟)

団体名

ミニSL各務原 **まちづくり助成1年目**

事業名

ミニSLによる三世代交流再開事業

事業概要

市内の地域三世代交流を目的に、市内の保育園・幼稚園児にミニSLに楽しく乗車していただく事業。

事業費総額：479,969円／交付決定額：300,000円

主な経費内容

レール消耗品、枕木、石炭、スチームオイル、事務消耗品、保険料、缶バッジ作成委託料、チラシ印刷委託料、デザイン費、リニアモーターカー備品、SL(マウンテン)備品

8月20日(土)、川崎山薬師寺において、雄飛地区の夏祭りが開催されました。雄飛地区まちづくり委員会メンバー約20人がペーパーバッグ行燈や提灯の展示、新たな催しである宝探しを行い、会場を訪れた地域住民は「静かな夏祭り」を楽しみました。

今年度は新たに「宝探し」と称したイベントを開催。120個の提灯に取り付けられた協賛企業19社の短冊に貼られた数字シールを探し、企業からのプレゼントをもらうというもので、多くの親子連れが参加していました。

夏祭りにあわせて帰省した方もおり、地域住民同士で久しぶりに顔を合わせる機会にもなりました。

団体事務局の河尻さんは、「昨年度同様、規模は縮小してしまいましたが、地域での関わりを広くすることができた。外部からも、コロナ禍でも活動を止めないことを評価していただいております。今後もできることをやっていきたい」と話されました。

9月21日(水)10:00~11:00、社会福祉法人小松河福祉会 前宮そらまちこども園において、園児を対象にしたミニSLの乗車会が開催されました。

参加したのは、前宮そらまちこども園の園児120人と、ミニSL各務原のスタッフ6人。前宮そらまちこども園は、令和4年度に現在の場所に新築移転したため、ミニSL各務原のスタッフは、事前に現地を訪れ、園庭と駐車場を使って運行を行うことを園と相談されました。

当日は、登園の落ち着く9:00から準備を開始。手慣れた手つきで分担して線路を設置し、地面の凹凸を、厚みの異なる複数の板を使って調整し、万一の転倒に備えて怪我防止の毛布を敷くなどの準備もされました。園児たちは早くから本格的なミニSLに興味を示し、準備を見守りました。

乗車中はスタッフが園児に手を振り、ハイタッチなどの交流も見られ、会場には笑顔が溢れました。園児たちは乗車記念の缶バッジを胸につけ、最後に団体メンバーと記念撮影を行いました。

団体名	NPO 法人 for your smile まちづくり助成1年目
事業名	マルシェによる子どもたちの成功体験応援事業
事業概要	子どもが自己肯定感を高め、自主的に動く力を身に付けられるよう、子どもたち主体のマルシェの開催を目指して学ぶプログラムを実施する。

事業費総額：460,651 円（変更後）／交付決定額：285,000 円（変更後）円

主な経費内容	講師謝礼、駐車場代、チラシ印刷費、コピー用紙、会場装飾、事務消耗品、大判印刷、名札、体温計、救急箱、感染症対策用品、傷害保険料、郵送費、会場使用料、補完コンテナ、荷物運搬用台車
--------	------------------------------------------------------------------------------------------

8月7日（土）10：00～12：00、産業文化センター2階第3会議室において、「子どもものづくりマルシェプログラム」の第1回目が開催されました。「15ブース程度」と記載した募集に対し、16ブース、子ども32名の参加がありました。会場では、保護者や兄弟25人が見守る中、スタッフ4人によるワークショップが行われました。

理事長の松原英人さんからは「私たちは皆さんに笑顔になってもらいたいと思って活動している。皆さんも、お客さんを笑顔にしてあげて欲しい。ありがとうと言ってもらえることは当たり前ではないことだと、このプログラムの中で気付いてもらえたら。」と挨拶がありました。

前半の自己紹介では、「名前・参加理由・楽しいと思うこと・出店名・内容・お客さんに喜んでもらえると思うか、どんな協力が欲しいか」を各自が発表。後半には、商品代金の決め方や見せ方のコツなどのアドバイスを含む講義が行われました。



8月7日（土）

9月17日（土）10：00～12：00、第2回目が開催されました。参加者の小中学生30人と保護者などの19人が参加し、講師役として岐阜各務野高校の生徒3人・引率の先生・教頭先生、NPO法人スタッフ3人に加え、CCNet岐阜局から石川さんが取材に訪れました。

前半は、岐阜各務野高校の会計コースに所属する生徒による講座。「挨拶は、人間関係を築くための第1歩」として、好印象を与える挨拶を伝えられたほか、おもちゃのお金や実際のトレーを使って会計時のシミュレーションを行いました。

後半は、松原英人さんから、普段は名古屋観光専門学校などで講演されている「人に喜ばれる心の作り方」のお話がありました。このマルシェに参加し、失敗をする可能性にも触れ、「成功の裏には、何千回・何万回のチャレンジがある。『もうやめよう』ではなく、足りなかったところを工夫してもう一度挑戦して欲しい。保護者の方には、ぜひそのように励ましていただきたい。」と話されました。



9月17日（土）



「まちづくり活動」とは？
 広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行う、自主的かつ公益的な活動をいいます。
 まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその効果を実感できる取り組みを想定しています。

助成金は2種類！

設立後3年未満の団体向け
スタート助成

1年目	助成率：対象経費の2/3 限度額：100,000円 または（総事業費-事業収入）
2年目	助成率：対象経費の1/3 限度額：50,000円 または（総事業費-事業収入）

設立後3年以上の団体向け
まちづくり助成

1年目	助成率：対象経費の2/3 限度額：300,000円 または（総事業費-事業収入）
2年目	助成率：対象経費の1/3 限度額：150,000円 または（総事業費-事業収入）

各務原市役所 市長公室 まちづくり推進課（産業文化センター6階）

電話 058-383-1997 メール machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

各務原 まちづくり活動助成金

市ウェブサイトでも、この取材レポートをご覧いただけます。市ウェブサイト➡ <https://www.city.kakamigahara.lg.jp/>
 ホーム > くらし・手続き > 市民活動・まちづくり活動・自治会 > まちづくり活動 > まちづくり活動助成金 > 令和4年度助成交付事業 > 令和4年度交付事業取材レポート

